



# UQ-KU Project

## 九州大学 研究教育交流拠点

# UQ-KU Project Newsletter

2017年1月

クイーンズランド大学-九州大学研究教育交流プロジェクト

## ニューズレター 1月号

### 九州大学「Progress 100」

九州大学理事・副学長である若山正人教授が指揮をとる Progress 100 は、世界中からトップの研究者を招へいし、九州大学の研究活動および強みを向上させることをミッションとしています。Progress 100 により国際的な共同研究プログラムや共同執筆が行われ、学部生や大学院生は世界最高の研究者らと直接交流を図る機会を得ることで、

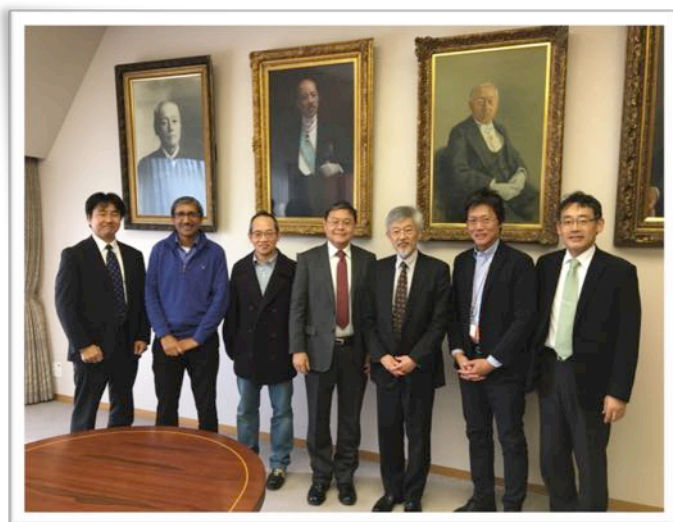
九州大学のランキングや評価の大きな向上が期待されます。

2016年12月には、Progress 100の一環として、松村晶教授、安達千波矢教授が受け入れ教授となり、クイーンズランド大学の著名な研究者4名、Jin Zou ナノ・サイエンス主任教授、機械鋳山学科の野北准教授、有機フォトニクス&エレクトロニクス・センター(UQ Centre For Organic Photonics & Electronics: COPE)の研究員

Ebinazar Namdas 博士および Shih-Chun Lo 博士が九州大学に招へいされました。

また先日は、Lo 博士、Namdas 博士、COLE 所長 Paul Burn 博士、および九州大学の安達千波矢教授が参加する有機 LED 用新素材開発の共同プロジェクトに対し、栄誉あるオーストラリア研究会議 (ARC: Australian

Research Council) Discovery 制度助成金が授与されております。



九州大学 Progress 100 参加者 (左から):野北和宏准教授(UQ)、Ebinazar Namdas 博士(UQ)、Shih-Chun Lo 博士 (UQ)、Jin Zou 教授 (UQ)、若山正人教授 (KU)、安達千波矢教授 (KU)、松村晶教授(KU)

### UQ-KU プロジェクト講義シリーズ

2016年12月16日から2017年1月17日まで、Jin Zou 教授が九州大学に招へいされています。滞在中、Zou 教授は「ナノ材料のための顕微鏡使用入門 (Introduction to Microscopy for Nanomaterials)」と題し、全6回の講義(英語)を行います。講義は学部生が対象で、電子顕微鏡、ナノ材料、熱電材料をなどのテーマを扱います。

2016年末には、Jonathan Read 氏も九州大学を訪問し、例年通り、留学生向けに工学倫理の講義を行いました。

更に UQ-KU プロジェクトでは、応用量子物理学・原子力工学部の職員・学生向けに、Chris Gourlay 博士(インペリアル・カレッジ、ロンドン)と Mohd Arif Anuar Mohd Salleh 博士(マレーシアペルリス大学)による講演を実施しました。両博士からは、はんだ接合技術の研究に関してお話を頂戴しました。

### UQ の学生にとっての研究機会

クイーンズランド大学の博士課程の学生である Chen Zhou さんと Flora Somidin さんの2人が2016年11月と12月の2か月間、九州大学に滞在されました。2人とも九州大学で超高压電子顕微鏡を利用できて大変喜んでいま

した。Zhou さんは、ヒ化ガリウム(アンチモン/ビスマス)ナノワイアの構造的特徴の研究に、原子分解能電子顕微鏡を活用できました。Somidin さんはその場加熱・冷却中における結晶の観察を行いました。今回の機会は、お二人の研究に大きく役立ったようです。

### クイーンズランドでの特別な滞在—西川 諒



2016年の夏、Q<sup>2</sup>PEC プログラムに参加しました。シドニーには行ったことがあったのですが、ブリスベンは初めてだったので、素晴らしい体験ができればいいなとワクワクしていました。そして、ブリスベンでの毎日は、まさに期待通りで、プログラムを満喫することができました。UQ のラボ・ツアーでは色々なプレゼンテーションを伺い、ICTE Building で一般英語の授業を受けたり、UQ のトライアスロン・クラブに参加したりと、面白いことが目白押しでした。

プログラムの期間中、5つの研究室にお邪魔して、プレゼンテーションを伺いました。色々な研究内容をご説明頂いたのですが、発表者のみなさんが、とにかくゆっくりと分かり易くお話ししてくれたので、理解もしやすかったです。興味の有無にかかわらず、いろいろな分野の知識を深めることができましたし、英語のリスキング力も上がりました。ですので、ラボ・ツアーに参加したことで、UQ の研究を知ることができただけでなく、英語能力の向上にもつながりました。

一般英語の授業は 8:15 から 12:45 まででした。もちろん、プレゼンテーション・スキル向上につながるものもありましたし、授業中、英語で会話や質問をすることで、英語のアドバイスもたくさん頂きました。その中では、外国語を使う必要がない状況にあっても、コミュニケーションが重要だということも学びました。そして、クラスメイトが本当によいお手本だったので、自分自身も、もっともっと成長したいと思えました。ですので、この授業は英語だけではなく、人生にとって大切なことを学んだ場となりました。先生と最後のクラスメイトたちに、心から感謝しています。

プログラム期間中は毎週、UQ で行われているトライアスロン・クラブの練習に参加しました。練習はだいたい朝の 4:30 か 5:15、5:45 からスタートだったのですが、そんなにきつくはありませんでした。ただ、会話や指示はもちろん英語でし、UQ には日本でほとんど見かけないような 50m プールもあったので、海外での練習に初めて参加できた貴重な機会となりました。また、見ず知らずの私にもチームメイトはたくさん話しかけてくれました。朝が早かったのですが、チームの練習に参加することにして、本当に良かったと思います。ブリスベンでの一番の思い出の一つになりました。

最後に、UQ とクイーンズランドでの滞在中、沢山のことを経験することができました。その裏では、ホストファミリーや先生方、助手の方々、九州大学、関係者のみなさんのご尽力があったに違いありません。みなさんには心からの感謝を申し上げますと共に、みなさんから学び、教わったことを今後の糧として頑張ります。3年後、是非 UQ の大学院に留学したいと思っています。この目標の達成に向けて、これまでの自分を変え、新しいことに挑戦していきます。このプログラムのおかげで、今までとは全く違う自分に成長することができました。

本当にありがとうございました。

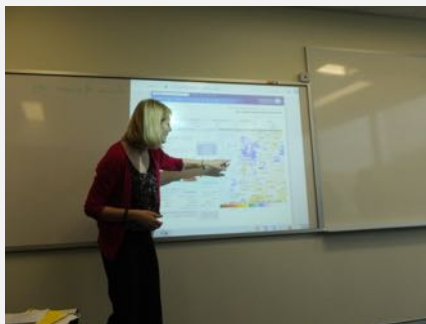
西川 諒



## クイーンズランド大学体験記

九州大学機械航空工学科の阿部勇輝と申します。昨年の夏、クイーンズランド大学(UQ)で素晴らしい留学経験をする事ができました。これから、その素敵な授業とホストファミリーについてお話ししたいと思います。

はじめに、UQでの英語の授業についてお話しします。毎日英語の授業が2つあり、クラスメートは中国、コロンビア、イタリア、アラブ首長国連邦など様々な国から来ていました。授業はそれぞれ2時間ずつでした。実は、オーストラリアへ来る前は、授業がとても長いので少々不安を感じていました。ところが、先生方はとても親切で面白く、あっという間に時間が過ぎていく感じがしました！さらに、先生方は日本のどの先生より英語を教えるのが上手だと思いました。先生方は、何か新しいことを教えてくれるときは、分かり易い例や言い回しを使ってくれるだけでなく、電子教材やウェブサイトなどのデジタル機器をフルに活用してくれました。そのおかげで学生たちの理解が深まり、授業に退屈することはありませんでした。さらに、一番すごかったのは学生たちでした。彼らは本当にエネルギーで、英語力を上げることに一生懸命でした。彼らはいつも自分たちの意見を言い、先生方や友達に質問をぶつけていました。そんな彼らからは、よい影響を受けました。



教室



ステキなクラスメートたち

次に私の素敵なホストファミリーを紹介します。

外国人の家庭にホームステイするのは今回が初めてでした。とても貴重な経験でした。最も印象に残っているのは夕食です。毎日私たちは夕食を一緒に食べていたのですが、ホストファーザーが、「今日は学校で何について勉強したんだい。君はそれについてどう思う。」と聞いてきました。最初の日は、その質問に答えることができませんでした。そこで、その日からは、毎日帰りのバスの中で、先生に教わったことを思い返すようにしました。私にとって良い復習の機会となりました。

このプログラムを通じて、英語だけでなく、文化、コミュニケーション能力、自分とは違う考え方など大変多くのことを学びました。多くの人に留学を経験してもらい、留学が如何に素晴らしいことであるかを感じてほしいと思っています。また、英語力を伸ばすために他の国々にも行ってみたいと思っています。他のプログラムにも応募するつもりですし、自分を向上させるために毎日頑張っています。



素敵なホストファミリー

最後に、UQとクイーンズランドでの滞在中、沢山のことを経験することができました。その裏では、ホストファミリーや先生方、助手の方々、九州大学、関係者のみなさんのご尽力があったに違いありません。みなさんには心からの感謝を申し上げますと共に、みなさんから学び、教わったことを今後の糧として頑張ります。3年後、是非UQの大学院に留学したいと思っています。この目標の達成に向けて、これまでの自分を変え、新しいことに挑戦していきます。このプログラムのおかげで、今までとは全く違う自分に成長することができました。

本当にありがとうございました。

阿部勇輝

詳細は本プロジェクトのホームページをご覧ください

<http://www.mechmining.uq.edu.au/uq-ku-project>